

建設業で働く皆さんへ

# 建設業安全衛生教育センター

CONSTRUCTION OCCUPATIONAL SAFETY AND  
HEALTH EDUCATION CENTER

平成30年度 講座ご案内



建設業労働災害防止協会けん さい ぼう ≪略称:建災防≫

JAPAN CONSTRUCTION OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH ASSOCIATION

<http://www.kensaibou.or.jp/>

# 受講のおすすめ

建設業労働災害防止協会では、労働安全衛生法に基づき事業者が行う安全衛生教育及び企業内で安全衛生教育を担当するスタッフの養成や建設技術者の資質向上を図る目的で、建設業安全衛生教育センターにおいて安全衛生教育を実施しております。

建設業における労働災害の発生状況については、事業者・安全衛生スタッフ等の労働災害防止に寄せる熱意と地道な安全衛生活動により、長期的には着実に減少してきており、平成28年は死亡災害、休業4日以上死傷災害も、いずれも過去最少となりました。しかしながら、平成29年の死亡災害においては夏場に急増したことから前年に比べて増加となり、極めて憂慮すべき状況となっております。

このような状況の下、リスクアセスメント（危険性又は有害性等の調査）の継続的な実施が、労働災害を減少させるための有効な手段であるとの考えから、当教育センターで開催する研修・講座の各教育科目に取り入れた安全衛生教育を行っております。

また、建設企業の労働安全衛生管理を、組織的かつ体系的に推進させる労働安全衛生マネジメントシステムの構築・認定のために必要な知識が修得できる講座、新たな職務として安全衛生を担当することになったスタッフを対象にした安全衛生管理専門講座、安全衛生教育の講師を養成するための講座、労働衛生教育の指導者になるための講座、国家資格として厚生労働省が定める「ずい道等救護技術管理者研修」、米軍基地内で建設工事を行う場合に必要とされる担当責任者のための資格取得講座など、質の高い内容のある研修・講座を行っております。

今後、全国各地で自然災害からの復旧・復興工事、防災、減災のためのインフラ整備等工事、2020年東京オリンピック・パラリンピック、リニア中央新幹線工事等による工事量の増加が見込まれます。さらに技術者・技能労働者の不足や高齢化、作業に不慣れた新規参入者等の就労などの問題を抱えており、労働災害の多発が懸念されます。

このようなことから、さらなる安全衛生管理活動の充実を図り、リスクアセスメントの実施とコスモスの効果的な運用により、労働災害防止活動を今後一層、積極的に進めることが必要となります。

当教育センターでは、受講者の目的に応じた講座や企業の安全衛生教育計画のニーズに合った研修を企画しておりますので、会員の皆様におかれましては企業の発展に欠かせない人材を育成する場として、また、職場外の集合教育（OFF-JT）の場としてご利用いただきたくご案内申し上げます。

なお、建設業安全衛生教育センターで開催する研修講座は、継続学習制度（CPDS）認定講習会として登録（一部を除く）いたしております。

また、ご不明な点等がありましたら、お気軽にご連絡下さるようお願い申し上げます。

## 講座一覽

講座名	開催回数	募集人員	掲載頁	研修期間	研修に要する金額			合計
					受講料	食事代	消費税	
<b>＊建設業労働安全衛生マネジメントシステム</b> <b>研修講座（COHSMS 講座）</b> (1) 構築・認定担当者研修講座 (2) 内部システム監査担当者研修講座	3回	30名	3頁	2泊3日	75,000	5,600	6,448	<b>87,048</b>
	6回	30名	3頁	2泊3日	75,000	5,600	6,448	<b>87,048</b>
<b>＊職長・安全衛生責任者教育講師養成講座</b> <b>（新CFT 講座）</b>	21回	30名	4頁	3泊4日	85,000	8,400	7,472	<b>100,872</b>
<b>＊職長・安全衛生責任者教育講師のための</b> <b>リスクアセスメント研修</b>	2回	40名	4頁	1泊2日	25,000	2,800	2,224	<b>30,024</b>
<b>＊低層住宅のための職長教育講師養成講座</b> <b>（SMT 講座）</b>	1回	30名	5頁	3泊4日	85,000	8,400	7,472	<b>100,872</b>
<b>＊建設技術者安全衛生管理講座</b> (1) 所長コース (2) 工事主任コース (3) SSHO 資格認定講座（出張講座） (3-1) 工事主任コース 沖縄3回、厚木2回、 横須賀、岩国、佐世保各1回 (3-2) SSHO リフレッシュコース（5年再教育講座） 沖縄3回、厚木2回、 横須賀、岩国、佐世保各1回 (4) 墜落保護担当責任者（CP）コース センター5回 沖縄5回、防府1回、佐世保1回	5回	40名	5頁	2泊3日	85,000	5,600	7,248	<b>97,848</b>
	4回	40名	6頁	2泊3日	75,000	5,600	6,448	<b>87,048</b>
	8回	30名	6頁	3日	75,600円（厚木・横須賀） 81,000円（沖縄・岩国・佐世保）			
	8回	30名	6頁	1日	37,800円（厚木・横須賀） 40,500円（沖縄・岩国・佐世保）			
	5回	30名	7頁	2泊3日	75,000	5,600	6,448	<b>87,048</b>
	7回	30名	7頁	3日	81,000円（沖縄・防府・佐世保）			
<b>＊労働安全衛生関係法令講座</b>	2回	40名	7頁	3泊4日	85,000	8,400	7,472	<b>100,872</b>
<b>＊建設業安全衛生管理専門講座</b> <b>総合工事業者店社安全衛生スタッフコース</b>	6回	40名	8頁	3泊4日	83,000	8,400	7,312	<b>98,712</b>
<b>＊ずい道等救護技術管理者研修</b>	14回	15名	9頁	4泊5日	146,000	11,200	12,576	<b>169,776</b>
<b>＊建設技術者安全衛生講座</b> <b>（工事計画参画者コース）</b> (1) 鋼橋架設工事コース (2) 地山の掘削工事コース (3) ビル建築工事コース (4) 圧気工事コース (5) PC橋架設工事コース (6) トンネル工事コース （山岳、推進、シールド）	1回	40名	10頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	<b>94,176</b>
	1回	40名	10頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	<b>94,176</b>
	1回	40名	10頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	<b>94,176</b>
	1回	40名	10頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	<b>94,176</b>
	※	40名	10頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	<b>94,176</b>
	※	40名	10頁	4泊5日	76,000	11,200	6,976	<b>94,176</b>
<b>＊再圧室操作業務従事者特別教育指導員</b> <b>（インストラクター）講座</b>	☆	30名	11頁	2泊3日	72,000	5,600	6,208	<b>83,808</b>
<b>＊建設業労働衛生管理講座</b> <b>（粉じん対策・インストラクターコース）</b>	※	30名	11頁	4泊5日	90,000	11,200	8,096	<b>109,296</b>

- (注) 1. ※の講座は、受講申込者が10名以上に達した場合、随時開催いたします。  
 2. ☆の講座は、隔年開催となります。  
 3. すべての講座で、受講申込者が開催人員に達しない場合は、講座を中止いたします。

# 建設業労働安全衛生マネジメントシステムに関する講座

Construction Occupational Health and Safety Management System (略称: COHSMS)



## 建設業労働安全衛生マネジメントシステム研修講座 (COHSMS講座)

### (1) COHSMS構築・認定担当者研修講座

この研修講座は、建設企業内に建設業労働安全衛生マネジメントシステム（コスモス：COHSMS）を構築運用する担当者を対象に、コスモス（COHSMS）の考え方・仕組み等について、システムの導入から構築までに必要となる、基本的な知識及びシステムの核とも言えるリスクアセスメントを修得することを目的としています。

また、コスモス（COHSMS）認定申請の手続き等についても解説を行います。

なお、標記講座の修了者には「COHSMS 構築・認定担当者研修講座」と「リスクアセスメント担当者（建設業）研修」を修了したことを証する修了証を併せて交付します。

※ CPDS：23 ユニット

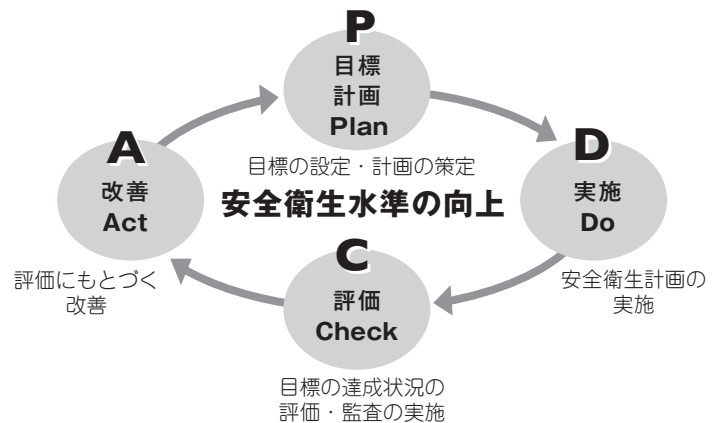
▶ 日程（2泊3日）研修料 87,048 円  
（食事代、消費税込み）

回数	開催日
第 61 回	H30 6/11 ~ 6/13
第 62 回	H30 10/10 ~ 10/12
第 63 回	H31 2/ 5 ~ 2/ 7

計 3 回

#### 講義内容

- 労働安全衛生マネジメントシステムの概要
- コスモス（COHSMS）ガイドラインの解説
- リスクアセスメント手法（演習を含む）
- システム構築の手順と留意事項
- システム監査の留意事項
- システムマニュアルとその解説
- 明文化の手順と留意事項
- コスモス（COHSMS）認定申請の手続き等



### (2) COHSMS内部システム監査担当者研修講座

この研修講座は、建設企業が構築したシステムの実施及び運用状況の監査を担当する、安全衛生管理部門の管理者及び担当者を対象に、システム監査に必要な監査手法に関する基礎知識などを修得することにより、企業内の「内部システム監査担当者」を養成することを目的としています。

なお、標記講座の修了者には「COHSMS 内部システム監査担当者研修講座」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS：2 ユニット

▶ 日程（2泊3日）研修料 87,048 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 55 回	H30 5/14 ~ 5/16	第 56 回	H30 7/17 ~ 7/19
第 57 回	H30 9/ 4 ~ 9/ 6	第 58 回	H30 11/19 ~ 11/21
第 59 回	H31 1/29 ~ 1/31	第 60 回	H31 3/ 4 ~ 3/ 6

計 6 回

# 安全衛生教育の講師になるための講座



## 職長・安全衛生責任者教育講師養成講座 (新<sup>コフト</sup>CFT講座)

### Construction Foreman Trainer

この講座は、建設業における専門工事業者が、関係請負人として工事を担当する時に選任される、職長及び安全衛生責任者が行う職務として、統括安全衛生責任者や他の請負人との作業間の連絡調整、労働者に対する指導・監督の方法、作業場所の保守管理、リスクアセスメント等を的確に遂行することができるように、職長及び安全衛生責任者教育を担当する講師を養成することを目的としています。

なお、標記講座の修了者には「職長・安全衛生責任者教育」の講師資格を証する修了証を交付します。

※ CPDS : 37 ユニット

#### 講義内容

- 安全衛生責任者の職務等
- 職長及びトレーナーの役割と教育の進め方
- 統括安全衛生管理の進め方
- 労働者に対する指導・監督の方法
- 災害事例研究（班別討議）
- 作業設備及び作業場所の保守管理
- 教育技法、役割演技
- 異常時における措置
- リスクアセスメント（演習を含む）

▶日程（3泊4日）研修料 100,872 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日	回数	開催日
第 318 回	H30 4/16 ~ 4/19	第 319 回	H30 5/ 8 ~ 5/11	第 320 回	H30 5/21 ~ 5/24
第 321 回	H30 6/ 4 ~ 6/ 7	第 322 回	H30 6/18 ~ 6/21	第 323 回	H30 7/ 9 ~ 7/12
第 324 回	H30 7/23 ~ 7/26	第 325 回	H30 8/ 6 ~ 8/ 9	第 326 回	H30 8/27 ~ 8/30
第 327 回	H30 9/10 ~ 9/13	第 328 回	H30 9/25 ~ 9/28	第 329 回	H30 10/15 ~ 10/18
第 330 回	H30 10/29 ~ 11/ 1	第 331 回	H30 11/12 ~ 11/15	第 332 回	H30 11/26 ~ 11/29
第 333 回	H30 12/10 ~ 12/13	第 334 回	H31 1/15 ~ 1/18	第 335 回	H31 1/28 ~ 1/31
第 336 回	H31 2/12 ~ 2/15	第 337 回	H31 2/25 ~ 2/28	第 338 回	H31 3/11 ~ 3/14

計 21 回



## 職長・安全衛生責任者教育講師のためのリスクアセスメント研修

この研修は、建設現場に潜在する労働災害発生の芽（リスク）を、事前に排除又は低減させるため、職長・安全衛生責任者教育を担当する講師を対象に、リスクアセスメント（危険性又は有害性等の調査）の実施に必要な危険性の洗い出し、リスク評価やリスクの低減措置等を、現場の中心的な担い手となっている職長及び安全衛生責任者に教育することができる講師を養成することを目的としています。

なお、標記研修の修了者には「リスクアセスメント研修」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS : 11 ユニット

#### 講義内容

- 作業方法の決定及び労働者の配置
- 労働者に対する指導又は監督の方法
- 危険性又は有害性等の調査及びその結果に基づき講ずる措置
- その他現場監督者として行うべき労働災害防止活動に関すること
- 異常時等における措置
- 安全衛生責任者の職務等
- 統括安全衛生管理の進め方

▶日程（1泊2日）研修料 30,024 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 42 回	H30 6/20 ~ 6/21	第 43 回	H29 10/10 ~ 10/11

計 2 回

# 低層住宅における職長教育の講師になるための講座



## 低層住宅のための職長教育講師養成講座( SMT 講座)

エスエムティー

### Safety Master Trainer

この講座は、低層住宅の建築現場における各種工事の責任者である（大工、左官、塗装等）職長を対象に、労働安全衛生法第 60 条に定められた職長の職務を的確に遂行することができるように、また、低層住宅現場の特性を踏まえ、作業員に効果的な指導教育ができ、安心して仕事を任せられる職長を育てることができる講師を養成することを目的としています。

なお、標記講座の修了者には「職長教育」の講師資格を証する修了証を交付します。

※（一社）全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度（CPDS）は、対象外となります。

#### 講義内容

- 職長の役割とその職務等
- 指導及び教育の方法
- 効果的な仕事の進め方
- 作業設備の安全化・保守管理
- ヒューマンエラー防止と現地 KY の進め方
- 災害事例研究の進め方（班別討議）
- リスクアセスメント（演習を含む）

▶ 日程（3泊4日）研修料 100,872 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日
第 59 回	H30 10/ 1 ~ 10/ 4

# 建設現場の管理技術者のための講座



## 建設技術者安全衛生管理講座

### (1) 所長コース

このコースは、建設現場（作業所）等で行う安全衛生管理の具体的な進め方、施工計画の事前審査、最近の施工技術と安全など、高度な安全衛生管理技術について研修を行うとともに、統括安全衛生責任者（現場所長）として、その職務を遂行する上で必要な安全衛生管理の専門知識を修得し、安全衛生管理活動の中心となる指導者を養成することを目的としています。

なお、標記コースの修了者には「建設技術者安全衛生管理講座（所長コース）」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS : 20 ユニット

#### 講義内容

- 最近の安全衛生行政の動向
- 労働安全衛生法及び関係法令の要点
- 労働安全衛生マネジメントシステムについて
- 施工計画の事前審査について
- 安全施工サイクルの推進（演習を含む）
- 災害事例研究（班別討議）

▶ 日程（2泊3日）研修料 97,848 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 105 回	H30 4/24 ~ 4/26	第 106 回	H30 7/23 ~ 7/25
第 107 回	H30 9/10 ~ 9/12	第 108 回	H30 11/19 ~ 11/21
第 109 回	H31 2/12 ~ 2/14		

計 5 回

## (2) 工事主任コース

このコースは、建設現場（作業所）における安全衛生管理の基礎的な知識・技術、安全衛生に関する規程、基準などについて研修するとともに、現場の若手技術者（工事主任）として、その職務を遂行する上で必要となる安全衛生管理全般に関する知識を修得し、現場の管理監督者を養成することを目的としています。

なお、標記コースの修了者には「建設技術者安全衛生管理講座（工事主任コース）」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS：20 ユニット

### 講義内容

- 建設業における安全行政と建設行政の動向
- 労働安全衛生法及び関係法令の要点
- 現場における安全管理の現状
- 施工計画と安全確保
- 作業手順と安全施工サイクルによる現場管理
- 異常時・災害発生時における措置
- 労働災害の防止責任と労災補償

▶ 日程（2泊3日）研修料 87,048 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 154 回	H30 6/11 ~ 6/13	第 157 回	H30 8/ 6 ~ 8/ 8
第 160 回	H30 11/ 6 ~ 11/ 8	第 163 回	H31 2/25 ~ 2/27

計 4 回

## (3) SSHO(現場安全衛生担当責任者) 資格認定講座(出張講座)

米軍基地内で建設工事を行う場合には、EM385-1-1の規定で「現場安全衛生担当責任者：SSHO」の常駐が義務づけられております。この資格を取得するためには、当教育センターが実施している建設技術者安全衛生管理講座「工事主任コース」又は「所長コース」の講習を修了することが、契約上必要です。なお、SSHO 資格は「有効期限が5年」とされており、この有効期限を過ぎると資格は失効することから、5年毎に再教育を受ける必要があります。

また、標記講座の修了者には、建設技術者安全衛生管理講座「工事主任コース」又は「SSHO リフレッシャーコース（5年再教育講座）」を修了したことを証する、英文の修了証を交付します。

### (3-1) 工事主任コース

本コースは、通常の工事主任コースと同内容です。

※ CPDS：20 ユニット

▶ 日程（3日間）研修料 75,600 円（厚木・横須賀）、81,000 円（岩国・佐世保・沖縄）（消費税込み）

回数	開催日	場所	回数	開催日	場所
第 152 回	H30 4/21 ~ 4/23	厚 木	第 153 回	H30 5/26 ~ 5/28	沖 縄
第 155 回	H30 7/ 4 ~ 7/ 6	横須賀	第 156 回	H30 7/28 ~ 7/30	岩 国
第 158 回	H30 9/ 1 ~ 9/ 3	沖 縄	第 159 回	H30 10/ 6 ~ 10/ 8	佐世保
第 161 回	H31 1/19 ~ 1/21	厚 木	第 162 回	H31 2/16 ~ 2/18	沖 縄

計 8 回

### (3-2) SSHOリフレッシャーコース(5年再教育講座)

本コースは、5年の有効期限が過ぎた方を対象とした研修です。

※ CPDS：9 ユニット

▶ 日程（1日）研修料 37,800 円（厚木・横須賀）、40,500 円（岩国・佐世保・沖縄）（消費税込み）

回数	開催日	場所	回数	開催日	場所
第 24 回	H30 4/21	厚 木	第 25 回	H30 5/26	沖 縄
第 26 回	H30 7/ 4	横須賀	第 27 回	H30 7/28	岩 国
第 28 回	H30 9/ 1	沖 縄	第 29 回	H30 10/ 6	佐世保
第 30 回	H31 1/19	厚 木	第 31 回	H31 2/16	沖 縄

計 8 回

## (4) 墜落保護担当責任者(CP) コース

米軍基地内で建設工事を行う場合には、EM385-1-1（2014年版）の規定で定められている「墜落保護担当責任者：CP」の常駐が義務づけられております。この資格を取得するためには、当教育センターが実施している建設技術者安全衛生管理講座「墜落保護担当責任者（CP）コース」の講習を修了することが、契約上必要です。

また、標記講座の修了者には、建設技術者安全衛生管理講座「墜落保護担当責任者（CP）コース」を修了したことを証する、英文の修了証を交付します。

▶日程（3日間）研修料 75,600 円（センター）、81,000 円（沖縄・防府・佐世保）（消費税込み）

日程につきましては、会場等の都合により未定となっております。詳しくは、建災防ホームページによりご確認ください。

## 労働安全衛生関係法令を体系的に修得するための講座

### 労働安全衛生関係法令講座

この講座は、建設業の店社（本社・支店）及び建設現場の安全衛生管理担当者を対象に、関係法令の専門家から最近の労働安全衛生行政の動向、法体系用語の解説、労働安全衛生法を始め関係規則等の改正などについて、また、弁護士からは判例を基にした具体的な事例や法的責任と安全配慮義務等の解説から法律の適用まで、建設業の労働安全衛生に係わる関係法令について体系的に研修するとともに、法的な考え方の理解を深めることを目的としています。

なお、標記講座の修了者には「労働安全衛生関係法令講座」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS：27 ユニット

#### 講義内容

- 労働安全衛生法及び関係規則等の解説
- 最近の労働安全衛生行政の動向
- 法的責任と安全配慮義務等の解説（弁護士）
- 事例研究（班別討議）
- 法令用語等の解説

▶日程（3泊4日）研修料 100,872 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 31 回	H30 7/ 9 ~ 7/12	第 32 回	H30 11/ 5 ~ 11/ 8

計 2 回





# 店社安全衛生スタッフ等のための講座

## 建設業安全衛生管理専門講座(総合工事業者店社安全衛生スタッフコース)

このコースは、総合工事業者の店社（本社・支店）が実施する安全衛生管理方針、管理目標の樹立、管理計画の作成からその実践・評価に至るまで、安全衛生管理の重要事項について具体的・体系的に研修し、店社の安全衛生スタッフとしてその職務を遂行する上で必要な安全衛生管理に関する専門知識を修得し、総合的な安全衛生管理活動が展開できる指導者を養成することを目的としています。

なお、標記コースの修了者には、「総合工事業者店社安全衛生スタッフコース」を修了したことを証する修了証を交付します。

※ CPDS : 31 ユニット

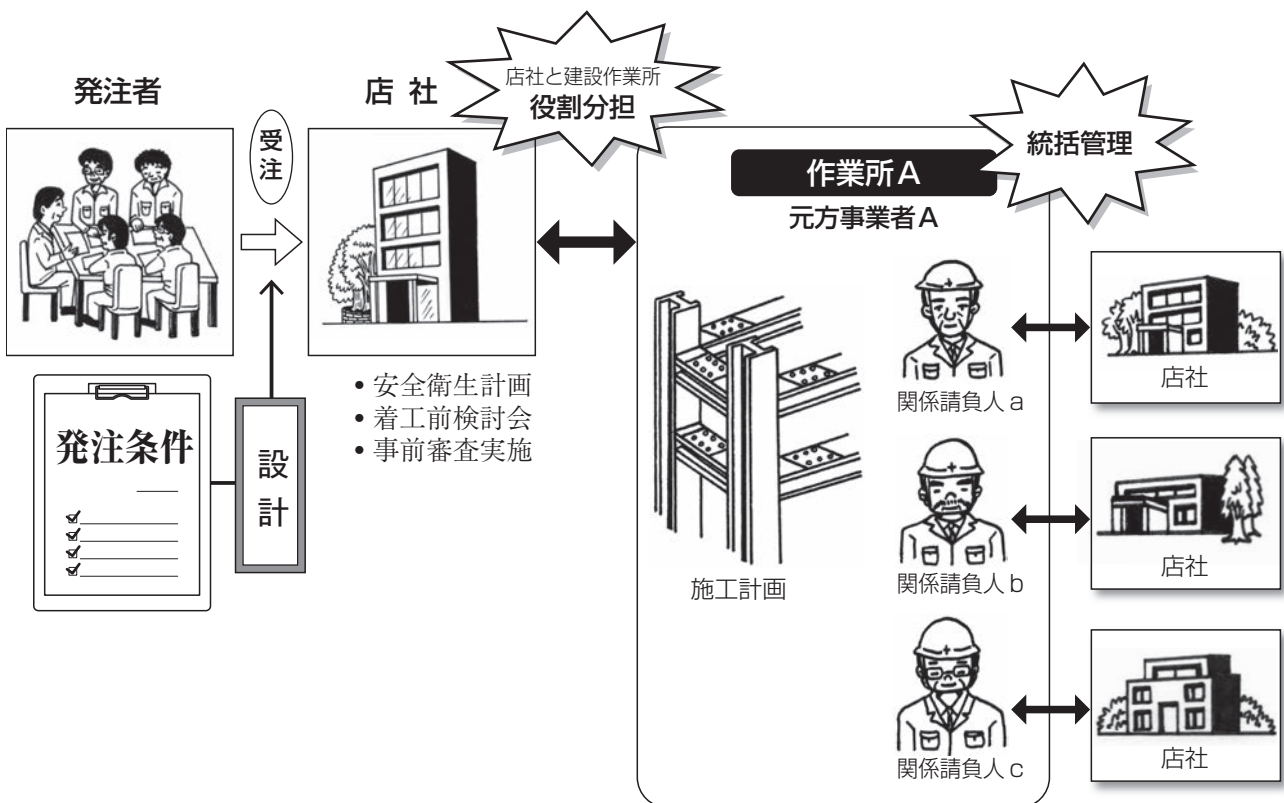
### 講義内容

- 建設業の安全衛生
- 労働安全衛生法及び関係法令
- 安全衛生管理体制について
- 労働災害補償の知識
- 安全衛生管理計画（演習を含む）
- 安全施工サイクルの推進
- 災害発生時の調査及び事例研究
- 安全衛生教育の進め方
- 効果的な安全衛生パトロールの方法
- リスクアセスメント（演習を含む）

▶ 日程（3泊4日）研修料98,712円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第248回	H30 5/14 ~ 5/17	第249回	H30 7/17 ~ 7/20
第250回	H30 9/ 4 ~ 9/ 7	第251回	H30 10/22 ~ 10/25
第252回	H30 12/ 4 ~ 12/ 7	第253回	H31 2/19 ~ 2/22

計 6 回



# ずい道等救護技術管理者資格取得のための研修



## ずい道等救護技術管理者研修

この研修は、一定規模のずい道等建設工事及び圧気工法による作業を行う工事等において、爆発・火災等の重大災害の発生時における救護活動、安全を確保するための措置のうち技術的事項を管理する者を対象に、管理者としての職務を遂行する上で必要な救護の知識、人工呼吸及びAEDを使用した心肺蘇生法等の一次救命措置、ガス測定機器等の実習、空気及び酸素呼吸器を使用した救護訓練方法等について研修し、ずい道等救護技術管理者を養成することを目的とした厚生労働大臣が定める研修です。

なお、標記研修の修了者には「ずい道等救護技術管理者」の資格を証する修了証を交付します。

※ CPDS : 37 ユニット

### 講義内容

- ずい道等建設工事の危険性について
- 救護に必要な関係法令の知識
- 救護に必要な機器等についての知識
- 災害事例研究（班別討議）

### 実技訓練

- 一次救命処置の実習  
（AED〔自動体外式除細動器〕の取扱いを含む）
- ガス測定機器等の取扱い実習
- 空気及び酸素呼吸器の着脱訓練
- トンネル内での救護活動訓練

▶ 日程（4泊5日）研修料 169,776 円（食事代、消費税込み）

回数	開催日	回数	開催日
第 560 回	H30 4/16 ~ 4/20	第 561 回	H30 5/ 7 ~ 5/11
第 562 回	H30 5/21 ~ 5/25	第 563 回	H30 6/ 4 ~ 6/ 8
第 564 回	H30 10/ 1 ~ 10/ 5	第 565 回	H30 10/15 ~ 10/19
第 566 回	H30 10/29 ~ 11/ 2	第 567 回	H30 11/12 ~ 11/16
第 568 回	H30 11/26 ~ 11/30	第 569 回	H30 12/10 ~ 12/14
第 570 回	H31 1/21 ~ 1/25	第 571 回	H31 2/ 4 ~ 2/ 8
第 572 回	H31 2/18 ~ 2/22	第 573 回	H31 3/ 4 ~ 3/ 8

計 14 回



模擬トンネル



AED 使用による一次救命処置訓練

### ※ 研修を受講される方への注意事項

- （注1）呼吸器の着脱訓練では、「あごひげ」及び「ほおひげ」を剃っての受講となります。
- （注2）当研修を修了して救護技術管理者を選任する際には、実務経験年数（3年）が必要となります。
- （注3）当研修の受講は、3年以上の実務経験（ずい道等の建設工事の仕事に従事した経験<sup>1</sup>を有する者、または、圧気工法による作業を行う仕事に従事した経験<sup>2</sup>を有する者）の有する方にお勧めいたします。

# 建設技術者及び工事計画参画者のための安全衛生講座



## 建設技術者安全衛生講座(工事計画参画者コース)

この講座は、下記に示した各種工事の設計及び工事計画の作成にあたり、工事の安全性に関する技術的事項及び安全を確保するための措置など、工事計画作成時に考慮すべき事項について、その分野の専門家を中心とした講義の他に討議、実習を多く取り入れた研修をするとともに工事計画の参画者、施工担当技術者、作成された工事計画をチェックする者等を対象として、それぞれの立場で職務を遂行する上で必要となる安全衛生管理の知識を修得し、工事計画参画者の養成と資質の向上を目的としています。

また、この講座は、労働安全衛生法第88条で定められている、工事計画参画者の資格要件の内の1つである「安全衛生に関する実務経験3年」を具備する厚生労働大臣が定める講座です。

なお、標記講座の修了者には「建設技術者安全衛生講座 ○○工事計画参画者コース」を修了したことを証する修了証を交付します。

▶各コース共通 日程(4泊5日) 研修料 94,176円 (食事代、消費税込み) **各1回**

※ CPDS : 38 ユニット

### (1) 鋼橋架設工事コース

#### 講義内容

- 鋼橋架設工事のセーフティアセスメント(SA手法)の考え方
- 工事計画の安全衛生に関する知識
- 工事用設備・機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

回数	開催日
第36回	H30 5/28 ~ 6/1

### (2) 地山の掘削工事コース

#### 講義内容

- 地山の掘削工事に必要な工事計画及び安全衛生に関する知識
- 掘削工事用機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

回数	開催日
第33回	H30 10/22 ~ 10/26

### (3) ビル建築工事コース

#### 講義内容

- ビル建築工事に必要な工事計画の安全衛生に関する知識
- 工事用設備・機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

回数	開催日
第55回	H30 12/3 ~ 12/7

### (4) 圧気工事コース

#### 講義内容

- 圧気工事に必要な工事計画及び安全衛生に関する知識
- 加圧、減圧のタイムテーブル作成(演習)
- 救急再圧管理計画
- 災害事例研究(班別討議)

回数	開催日
第18回	H31 3/11 ~ 3/15

### (5) PC橋架設工事コース

#### 講義内容

- PC橋架設工事のセーフティアセスメント(SA手法)の考え方
- 工事計画の安全衛生に関する知識
- 工事用設備・機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

### (6) トンネル工事コース

#### 講義内容

- トンネル工事のセーフティアセスメント(SA手法)の考え方
- 工事計画の安全衛生に関する知識
- 工事用設備・機械に関する知識
- 災害事例研究(班別討議)

※ 平成30年度の「PC橋架設工事コース」・「トンネル工事コース」は、受講申込者が10名以上に達した場合に、随時開催します。  
また、「トンネル工事コース」は、山岳トンネル、シールド、推進工事の統合講座ですが、各々のコースの受講申込者が10名以上に達した場合には、単独で開催します。

# 労働衛生教育の指導者になるための講座

## 再圧室操作業務従事者特別教育指導員(インストラクター) 講座

この講座は、圧気ケーソン・圧気シールド工事等の圧気作業及び潜水作業における、減圧症等の高気圧障害防止を図るために再圧室操作業務従事者を対象に、その職務を遂行する上で必要な専門知識及び再圧室の操作方法、救急再圧法等について、専門家及び大学教授により研修するとともに、再圧室操作業務に従事する労働者に対して、特別教育を担当する指導員(インストラクター)を養成することを目的としています。

なお、標記講座の修了者には「再圧室操作業務従事者特別教育」の指導員資格を証する修了証を交付します。

### 講義内容

- 高気圧障害予防のための知識(大学教授)
- 救急蘇生法の実習(大学教授)
- 再圧室の操作及び実習(大学教授)
- 救急再圧法
- 労働衛生管理の概論
- 労働衛生教育

▶ 日程(2泊3日) 研修料 83,808 円(食事代、消費税込み)

注) 本講座は、隔年で実施しており、今回は平成 31 年度の開催を予定しております。

## 建設業労働衛生管理講座(粉じん対策・インストラクターコース)

この講座は、ずい道等の地下建設工事に従事する管理者を対象に、粉じん障害防止のために必要な専門知識、粉じん対策に係る計画の策定方法、粉じん濃度等の測定、防じんマスクの管理、教育技法等について、その専門家及び大学教授により研修するとともに、粉じん作業に従事する労働者への特別教育を担当する指導員を養成することを目的としています。

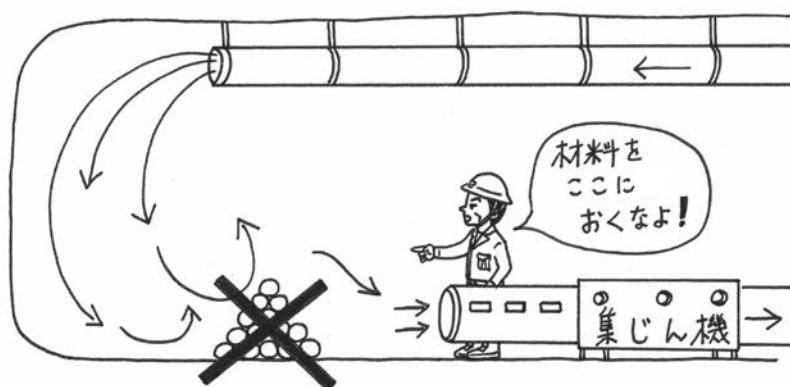
なお、標記講座の修了者には「建設業粉じん作業特別教育」の指導員資格を証する修了証を交付します。

### 講義内容

- 指導員の役割と心構え
- 粉じん障害防止に必要な安全衛生関係法令
- 粉じんによる疾病と健康管理
- 呼吸用保護具の取扱い方法
- 粉じん作業の管理
- 教育技法(班別討議)
- 測定機器の取扱い実習

▶ 日程(4泊5日) 研修料 109,296 円(食事代、消費税込み)

注) 本講座は、受講申込者が 10 名以上に達した場合に、随時開催いたします。



建設業安全衛生教育センター

## 受 講 申 込 書

講 座 名

開催期間 平成 年 月 日 ~ 月 日

教育センター記入欄

受付番号 No.

受講票送付 月 日

- 個人情報保護法により、受講申込書で得た個人情報は、講座運営のために必要な受講者名簿及び名札等の作成以外に使用することはありませんので、正確にご記入下さい。

ふりがな		生年月日
申 込 者		S・H 年
氏 名	性別(男・女)	月 日 満 歳
本 人	〒	電話
現 住 所		( )
ふりがな 会 社 名 (事業所名)	支店	営業所
部 署 名		
会 社	〒	電話
所 在 地		( )
受講票送付先 (○で囲んで下さい)	① 本人現住所(本人宛)                      ② 会社所在地(本人宛) ③ 連絡会社(連絡担当者宛)	

研修合計金額

円

(振込先) 三菱東京UFJ銀行 田町支店  
普通預金 No.4236974  
(口座名) 建設業労働災害防止協会

- \* 振込の際は「会社名」と「受講者名」を明記して下さい。なお、手数料はご負担願います。  
\* 貴社の振込予定日、送金元銀行名、支店名をご記入下さい。

振込予定日 月 日 銀行 支店

- \* 申込み等に関して教育センターから問い合わせをする場合、申込者の現住所又は会社所在地と異なる場合は、下記にご記入下さい。

連絡会社 〒

所在地

連絡会社名

電話

FAX

連絡担当者

所属部課名

氏名

注意  
事項

1. 受講申込用紙は、コピーしてご使用下さい。  
(建災防HPからダウンロードができます。 <http://www.kensaibou.or.jp/>)
2. 受講を希望される講座名、期間等を必ず記入して下さい。
3. 受講申込書は、遅くとも開講日の1カ月前までにFAXでご連絡下さい。 FAX : 043-486-7341
4. ご不明な点がありましたら、教育センターまでご連絡下さい。 TEL : 043-486-1321

## \*受講申込方法

- ☆ 受講申込の前には必ず、電話で空き状況を確認して下さい。
- ☆ 受講申込は、所定の受講申込書によりお早めにお申し込み下さい。受付は先着順となります。
- ☆ 受講申込書には必ず、講座名、開催期間等の必要事項を記入し、当センターあてに FAX でお申し込み下さい。
- ☆ 受講票は申込後、随時送付いたします。(但し、原則として開講日の 2 カ月前から発送いたします。)
- ☆ 受講申込後の取消し、受講者の変更等が生じた場合には、必ず FAX でご連絡下さい。
- ☆ 各講座とも、受講申込者数が当センターの定める基準に達しない場合には、講座を中止することがあります。講座の中止が決定した場合には、直ちに受講申込者に連絡いたします。

## \*受講料の支払方法

- ☆ 受講料は前納制となっております。
- ☆ 受講料は、遅くとも開講日の 20 日前までに下記の指定口座にお振り込み下さい。
- ☆ 振込先 三菱東京 UFJ 銀行 田町支店 普通預金口座 No.4236974
- ☆ 口座名 建設業労働災害防止協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-35-2 電話 03-3453-8201

## \*継続学習制度 (CPDS) について

- ☆ 本案内書の平成 30 年度の研修講座は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度 (CPDS) の学習プログラムに認定登録されています。
- ☆ 講座 (研修) 終了後、受講者全員に CPDS 学習履歴受講証明書を発行いたします。
- ☆ 継続学習制度 (CPDS) の手続き等、詳細については (一社)全国土木施工管理技士会連合会のホームページ (<http://www.ejcm.or.jp/>) をご覧ください。

## \*研修にあたって

- ☆ 研修期間中に、遅刻及び途中退席や早退等をした場合には、修了証は発行されませんのでご了承ください。
- ☆ 研修期間中の事故や怪我につきましては、責任を負い兼ねることをご了承下さい。
- ☆ 受講に際しましての録音は、ご遠慮願います。

## \*受講取消について

- ☆ 受講取消手数料について  
受講申込後の取消については、下表の取消手数料が掛かります。
  1. 受講者の変更については、手数料は掛かりません。
  2. 出張講座の受講取消手数料等につきましては、当センターまでお問い合わせください。

受講取消及び受講回数変更手数料一覧表

受講取消の場合		受講回数変更の場合	
開講 15 日以上前	無料	1 回目	無料 (注)
開講 14 日前～8 日前	10,000 円	2 回目～	10,000 円
開講 7 日前～5 日前	20,000 円	※2 回目以降は、届出日にかかわらず 手数料が掛かります。	
開講 4 日前～講座前日	35,000 円		
講座初日	40,000 円		
講座初日 (無連絡)	該当する研修費全額		

- ☆ 返金申請について  
受講料振込後、開講日の 15 日以上前に取消をした場合は、全額返金をいたします。  
また、返金申請手続きについてのお問い合わせは、当センターまでお願いいたします。
- ☆ (注) について  
受講回数の変更が初回の場合で、連絡が開講日の 6 日以上前の時は、変更手数料が無料です。  
但し、開講日の 5 日前以降での連絡は、手数料 1 万円をご請求いたします。

## \*修了証のとりまとめについて

- ☆ 過去に、当センターで受講された方は修了証を 1 枚 (1 枚あたり 4 件まで) のカードにまとめることが出来ます。とりまとめを希望される方は、受講当日に修了証 (当センター発行の修了証に限る) をご持参下さい (コピーは不可)。但し、ずい道等救護技術管理者研修、工事計画参画者コースの講座につきましては、単独のカードとなり、まとめることができませんのでご了承下さい。  
また、郵送による申請の場合は、有料となりますのでご注意ください。

## 交通のご案内

### ▶京成佐倉駅（北口）下車

- 東京駅又は上野駅（JR山手線・京浜東北線）→ 日暮里駅（京成本線特急）→ 京成佐倉駅（所要時間 約1時間20分）
- 羽田空港駅（京急本線～都営浅草線～京成本線）→ 京成佐倉駅（所要時間 約2時間）
- 羽田空港駅（モノレール）→ 浜松町駅（JR山手線・京浜東北線）→ 日暮里駅（京成本線特急）→ 京成佐倉駅（所要時間 約2時間）
- 成田空港 空港第二ビル駅（京成本線特急）→ 京成佐倉駅（所要時間 約30分）

### ▶「京成佐倉駅北口」から安全衛生教育センターまで約3kmです。

京成佐倉駅（北口）から安全衛生教育センターまでは、送迎バス（無料）またはタクシー（有料）をご利用下さい。

### ▶羽田空港を利用される場合は、講座終了後、約2時間30分、また、成田国際空港を利用される場合は、約1時間かかります。

### ▶「東関東自動車道 佐倉IC」から安全衛生教育センターまで約8kmです。（約20分）

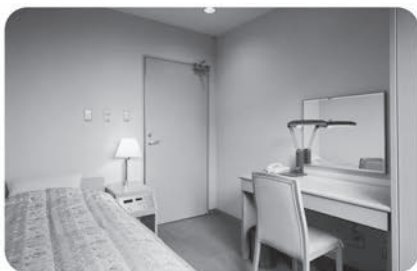
- ※1 京成佐倉駅北口は、改札口を出て右側です。
- ※2 送迎バスの運行時間は、受講票にてご確認をお願いします。
- ※3 駐車場は完備しております。（但し駐車場内で起こった事故につきましては、責任を負いかねます。）
- ※4 JR佐倉駅からの送迎バスはございません。

## 研修時間等のご案内

1. 研修初日は、開講式が始まる20分前までに受付を済ませて下さい。
2. 開講時間、終了時間等は受講票にてご確認をお願いします。

## 宿泊施設等のご案内

1. 各講座とも合宿制をとっており、当センターの施設での宿泊となります。（全室個室）
  - ※ 講座開催前の前泊は受付していません。
2. 毎朝、ラジオ体操を行っておりますので、軽装でご参加下さい。（Tシャツ・短パン・ジャージはご遠慮ください。）
3. 洗面用具（歯ブラシ、歯磨き粉やタオル等）等は、ご持参下さい。
4. 備品設置／部 屋：寝間着・サンダル・時計（アラーム付） 浴室：シャンプー・リンス・石鹸・ドライヤー  
洗濯室：洗濯機・洗剤・乾燥機 ※各宿泊室には、テレビはありません。
5. 全館禁煙（一部喫煙所あり） ※当センターでは、たばこの販売はありません。
6. 宿泊棟の全室で無線LANが、使用できます。
7. 食物アレルギーのある方は事前にお申しつけ下さい。



部屋

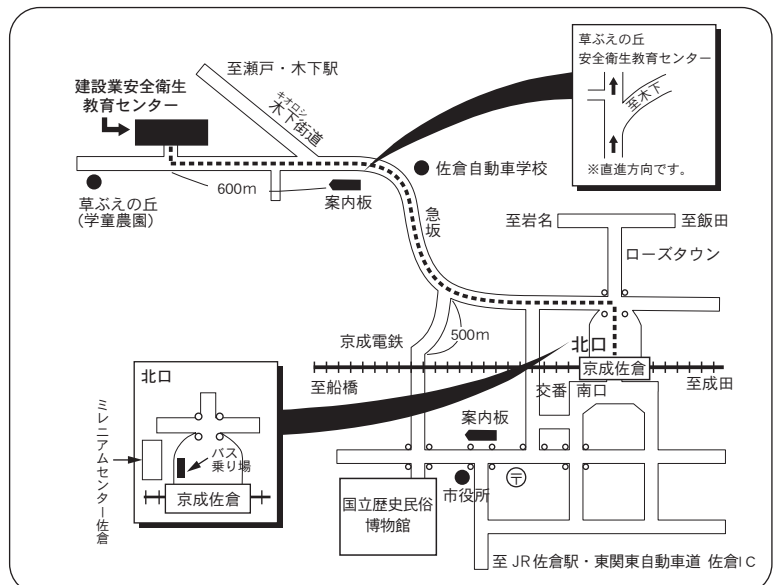


食堂



談話コーナー

## 建設業安全衛生教育センター案内図



☆ご不明な点等ございましたら、  
下記の連絡先までお問い合わせください。

### 建設業安全衛生教育センター

〒285-0003  
千葉県佐倉市飯野 852  
TEL 043-486-1321  
FAX 043-486-7341

<http://www.kensaibou.or.jp/>

# 平成30年度 建設業安全衛生教育センター 日程表

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	日																																		
4	日																																		
5	日																																		
6	日																																		
7	日																																		
8	日																																		
9	日																																		
10	日																																		
11	日																																		
12	日																																		
1	日																																		
2	日																																		
3	日																																		

ずい道	14回	法令	労働安全衛生関係法令講座	2回
総合店社	6回	SMT	低層住宅のための職長教育講師養成講座	1回
新CFT	21回	(建設技術者安全衛生講座 工事計画参画者コース)		
職長リスク	2回	ビル建	ビル建築工事コース	1回
構築・認定	3回	鋼橋	鋼橋架設工事コース	1回
内部監査者	6回	地山	地山の掘削工事コース	1回
粉じん	※	PC橋	PC橋架設工事コース	※
再圧室	☆	トンネル	トンネル工事コース	※
所長	5回	圧気	圧気工事コース	1回
工事主任	4回			計84回
工事主任	8回			
SSH0	8回			

注1) 講座日程に変更が生ずる場合がございます。  
 注2) ※の講座は、受講申込者が10名以上に達した場合、随時開催いたします。  
 注3) ☆の講座は、隔年開催となります。